

設楽 健夫 議員



Q 政治倫理条例をどのように進めるか伺う

A 過去の例についても調べたい

Q 特別職は政治倫理条例について、条例提出の足並みがそろわないことの具体的な説明と、原因は何か、機運醸成を図るには、措置をどのように考え、進めていくか伺う。

A 市長 過去の経緯から内容の議論はしておりませんが、足並みについては関係機関と一緒にやるのが私は大事だと考えます。機運醸成を図るとともに、過去にもいろんな例がありますので、そういったものについて少し調べてみたいと思います。

Q 3月26日に地区公民館復活要望書、3月30日にあゆみ祭り日程を8月16日へ戻す要望書が市に提出されていると思うが、見解を伺う。

A 教育部長 現在の体系により、これまで同様のコミュニティ活動を将来にわたり継続できるものと考えております。今後も地区の実情に合った公民館運営ができますよう、役員の方々と協議をしながら進めさせていただきます。

A 都市産業部長 今年のおゆみ祭り開催日は、あゆみ祭り実行委員会の協議において7月15日に決定されたところですが、開催地の地元からのご要望でもございますので、貴重なご意見として真摯に受けとめ、今後とも地域の皆さんが参加しやすい祭りになるように尽力してまいります。

質問事項

- 1 市長等特別職の政治倫理条例と会議録について（公明・公正・公平な市政を求める―（近隣市町村は制定されている））
- 2 千代田石岡インター周辺（工業団地）土地利用調査、スマートインター設置調査、歩道公園湖岸桟橋調査の起案書及び仕様書について
- 3 地域包括ケアシステムにおける地域支援事業の基盤づくりと包括支援センターについて



▲7月15日に開催されたあゆみ祭りの様子

古橋 智樹 議員



Q 正規・非正規雇用の識別化の撤廃について見解を伺う

A 企業立地補助制度を見直し、正規社員への格上げを要件に含めます

Q 正規・非正規雇用の識別化の撤廃を目指して、雇用条件による格差社会の消極的意識を軽減して多くの市民を迎え、市の補助事業においても臨時職員への処遇改善などを図ることについて見解を伺う。

A 市長 雇用制度改革については政府の動きに先駆けたかすみがうら市版ステップアップ促進策を講じ、現行の企業立地助成金制度を見直し、市内に立地する企業において非正規社員を正規社員に格上げすることも助成要件に含まれるようにします。また、市役所みずから率先垂範し、地方公務員法の改正に伴う臨時職員制度の運用見直しにより処遇改善を図ってまいります。

Q 本市の人口ビジョンでは20代から30代の女性の市外への転出が目立つが、転出抑制のため女性にとって魅力ある仕事づくりを目指した方策を講じるべきではないか、市の考えを伺う。

A 理事 今年度は地方で就業を希望する首都圏の20代、30代の女性と本市の中で、女性社員の登用を希望する企業とのマッチング事業を行う予定となっており、転出の抑制のみならず、転入の促進にも積極的に取り組んでまいります。

質問事項

- 1 正規・非正規雇用キャリア一本化をめざすまちづくり





議員 丈治 来栖

Q 行政区との連絡調整について改善策を伺う

A 行政区長の仕事や役割を十分に理解していただけるよう取り組んでまいります

Q 降雪の際などに行政区内での連絡不足などを指摘する声が市民や区長からあるが、区長会担当課でどのような依頼、関係課との調整、行政区との調整が図られてきたか、市民生活の安全最優先での改善策などについて伺う。

A 市民部長 現在、1年もしくは2年任期の行政区長が多く、その期間内に行政区長の仕事や役割を十分に理解していただけるよう、区長会総会の際に配布している「行政区活動の手引き」の内容の検討や研修内容の拡充などに取り組んでまいります。

Q 公共施設の管理計画について、平成29年度に霞ヶ浦地区内小学校跡地の地域説明会が行われたが、その後の進捗状況など、地域住民への説明をどのように行うか伺う。

A 参事 各事業者によりまして交渉の進捗度合いは異なっておりますが、それぞれの事業計画の実施段階に際しましては改めて地域の皆様へ説明する機会を設けながら、地域の活性化につながる活用と調整をしてまいりたいと思います。

質問事項

- 1 本市の人口ビジョンの実現に向けた諸施策について
- 2 空家対策、利活用について
- 3 公共施設の管理計画について
- 4 市民生活の安全のため、道路管理担当課と区長との連携、市民協働体制の構築について
- 5 本市として、国際理解の促進や平和教育などを進めるため、仮称国際交流協会の設立について市長の所見を伺う。
- 6 外国人登録法が廃止され、外国人の方も住民基本台帳で管理されていますが、国民健康保険や福祉制度の取り扱いについて伺う。



▲今年度、霞ヶ浦庁舎に新設となった市民協働課



議員 文雄 佐藤

Q 新広域ごみ処理施設建設計画から脱却し、現有施設の活用を図るというについて、伺う

A 霞台厚生施設組合が事業者と本契約を締結、新ごみ処理施設建設が着手されている

Q ごみ減量化・資源化に取り組むとともに、現有施設である新治地方広域事務組合環境クリーンセンター等を活用すれば新広域ごみ処理施設建設は必要ない。当市の建設負担額もどこまで膨れ上がるか分からないので、どうして「最少の経費で最大の効果をあげる」と言えるのか、伺う。

A 市長 同施設は、平成7年の建設から20年以上が経過し、耐用年限が近づいております。構成市である石岡市は広域化を、土浦市は長寿命化を進めてきております。新ごみ処理施設の施設整備は、昨年9月に本市議会で債務負担行為の議決を頂き霞台厚生施設組合議会の議決をもって本契約を締結し、新ごみ処理施設の建設が着手していることから、同施設の今後の方向性につきましては、新治地方広域事務組合にて決定していくものと考えております。

Q 学校給食費の無料化の第一歩として「公会計化」にすべきではないか、伺う。

A 教育長 学校における働き方改革に係る緊急提言に学校給食費の「公会計化」がうたわれております。現在、ほとんどの近隣市町村では各学校ごとに会計報告をしている実情ですので、今後、十分に研究をさせていただきます。

質問事項

- 1 新たなごみ処理施設建設について
- 2 教育・子育て支援について
- 3 国民健康保険税について
- 4 生活保護切り下げについて

